

2025/2/3 (荒木)

防災産業展、グリーンインフラ産業展、G 空間 Expo 等 入手パンフ情報(2025 年 1 月 29 日～1 月 31)

注) D: 防災産業展、Gr:グリーンインフラ産業展、Ge:G 空間 Expo、Sp;国際宇宙産業展↓

(以下は、荒木が入手した情報であり全出展者の情報ではないことをご留意ください。)

≪防災産業展≫

D-1 減災サステナブル技術協会 展示ブース・・・主として、説明員がパンフレットを配布↓

1) 三和シャッター工業 (株): 「耐風ガード LS」 <https://www.sanwa-ss.co.jp/products/001177.html>

2) (株) 小野田産業: 「SAM」津波シェルター <https://onoda-sg.co.jp/samtop/sams/>

3) (株) テクノフレックス: 「Multi Aqua S」 <https://multiaqua.jp/>

4) (株) ゴッドアイランド: 「神島プロジェクト」 <https://www.kamishimapjt.com/>

5) Wavelogy(株): 音解析 DX 「Oto Ru」 <http://wavelogy.jp/>

6) 新日本空調 (株): 耐水防止ダンパ「ジャバツ Shut」
<https://www.snk.co.jp/service/technology/search/?pdid=124>

7) 高知県黒潮町: 「防災ツーリズムのご案内」
<https://kuroshio-kanko.net/bousai/>

8) (一社) レジリエンス協会:
<https://resilience-japan.org/wp/wp-content/uploads/2024/01/about-rrcj.pdf>

D-2 (株) 構造計画研究所: <https://www.bcp-kke.jp/>

D-3 防災科学技術研究所: <https://bosai.go.jp/>

D-4 文化シャッター (株): <https://pr.www.ipros.com/bunka-s/catalog/category/29592>

D-5 THK (株): 免震・制震ガイドブック <https://www.menshin.biz/>

D-6 NTT コミュニケーションズ (株): 「グローバル衛星通信サービスの紹介」
[Inmarsat / IsatPhone 2 | 株式会社日本デジコム](https://www.inmarsat.com/ja/isatphone2)

D-7 アイコミュニケーションズ (株): 災害対策電力ユニット「ENECO」 <https://eneco-jp.com/>

D-8 WRS2025: 過酷環境 F-REI チャレンジ 2025/10/10～10/12@ 福島ロボットフィールド
<https://wrs.f-rei.go.jp/>

D-9 三菱ケミカルアクア・ソリューションズ (株): 地下水膜ろ過システム www.mcas.co.jp

D-10 日本防災産業会議: <https://bousai-industry.jp>

D-11 (株) ブルーオーシャン研究所: 「みちびき海象ブイ」 <https://boi.co.jp/products/michibiki/>

D-12 (株) 日さく: 「防災用井戸」 <https://www.nissaku.co.jp>

≪グリーンインフラ産業展≫

Gr1 独立行政法人 都市再生機構: 「うめきたプロジェクト」 グラングリーン大阪 (三菱地所他)
[240717_LEED_release.pdf](https://www.ur-rei.go.jp/240717_LEED_release.pdf)

Gr2 国土交通省 都市局 都市環境課 & 優良緑地確保計画制度 (TSUNAG) 事務局
メール: tsunagu@urbangreen.or.jp

Gr3 (株) オリエンタルコンサルタンツ: <https://www.oriconhd.jp/>
<https://www.oriconsul.com/service/harbor-fishing-port.html>

2025/2/3 (荒木)

Gr4 東亜建設工業 (株) 海の相談室：[海の相談室 | 技術とサービス | 東亜建設工業](#)

https://www.toa-const.co.jp/tech/yellow_magic/

Gr5 大成建設 (株)：エコロジカルプランニング <https://www.taisei.co.jp/ss/tech/F1024.html>

Gr6 日本工営 (株)：ブルーカーボン生態系 MobaDAS,

<https://www.n-koei.co.jp/consulting/news/document.html?relyear=2025&id=20250109-09bea9cf>

多機能性フィルター株式会社 BSC 工法 <https://takino.co.jp/bsc.html>

Gr7 国土交通省港湾局：海の森ブルーカーボン <https://www.blueeconomy.jp/>

Gr8 カルシア改質土研究会 <https://calcia.jp/>

《G 空間 EXPO》

Ge1 nat (株)：アプリ「Scanat」瞬時にミリ単位で空間計測可能なアプリ <https://scanat.app/>

Ge2 (株) リプロ：「水ピィ杭Ⅱ」[水害対策：水検知システム『水ピィ杭』 | 株式会社リプロ](#)

Ge3 Geo アクティビティコンテスト：<https://www.g-expo.jp/geocon/>

1) 東海大学情報理工学部情報メディア学科 宇津 圭祐

ハザード情報アウトライン API・ウェブアプリ～このへん、あのへんのハザード情報がすぐに簡単に！～ <http://utsuken.sub.jp/check/>

2) 土地家屋調査士 白土洋介 今ここ何番地？

3) 松村 正一 防災ゲーム「釜石の奇跡」「釜石の奇跡」は東日本大震災のときの出来事。小中学生約 570 人が自主的避難して全員助かった

4) 宮崎県立門川高等学校 地域防災班 防災カードゲーム「私が来たからもう大丈夫！」

5) 一般社団法人 災害伝承普及協会 竹中あかり 新しい復興支援のカタチ～災害伝承検定～

<https://husegu.com/>

全国の災害箇所石碑 (地震、洪水)・・・国土地理院の全国地図 2,138 箇所をツアーして防災推進

*命を守る行動ができる人を増やす啓蒙活動「災害伝承検定」を進めている。

6) 愛媛大学附属高等学校 坂田 彩夏 多田 伊花 高須賀 柚奈

愛媛大学大学院農学研究科 池見 孔志

急傾斜果樹園におけるスマート農業と被災農地支援～地理空間情報を活用して描く『未来の農業』～被災した農家に対する災害査定、昨年度の課題である斜面崩落の起点予測

7) Divers Project：ダイバーシティー実現バリアフリールート共有アプリ「DiversMap 2」

8) 共愛学園前橋国際大学 渡辺研究室 小林愛弓、家入萌々花、渡辺晃輔

日本の死角をなくそう👁️～ライブカメラオープンデータ整備PJ～

9) 宮崎県立佐土原高校 情報技術部・産業デザイン科

観光案内アプリ「SHSvisit ジャパン」

10) 関ヶ原町歴史民俗学習館サポータ『不破ふわ塾』(ボランティア団体) 代表 木村 寛之

地理院地図(電子国土 Web)を利用した各時代の海岸線推定と歴史を再検討— 美濃国不破郷の歴史 —

11) 伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム

地理空間情報を活用した肥料起源マイクロプラスチックの調査 ver2

2025/2/3 (荒木)

- 12) 明石工業高等専門学校 都市システム工学科 環境工学研究室 廣田 敦志・渡部 守義
オープンデータを用いた都市街路樹の抽出に関する研究
- 13) 福井県立大学ジオアーカイブ部
ジオ生成 AI 革命 -誰でも GIS で地域分析-
- 14) 全国 Q 地図管理者
各種地形図・地理空間情報の統合閲覧サイト「全国Q地図」
- 15) 明石工業高等専門学校 都市システム工学科 環境工学研究室 廣田 敦志・渡部 守義
オープンデータを用いた都市街路樹の抽出に関する研究

Ge4 国土地理院 自然災害伝承碑グループ

<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>

- ※「自然災害伝承碑」自然災害に関する事柄（災害の様相や被害の状況など）を記載した石碑等↓
過去に発生した地震、津波、洪水、土砂災害、高潮、火山被害等が記されている
→地理院地図に掲載…令和7年1月30日時点で2,252基

Sp1 山口大学大学院宇宙利用工学研究室+株式会社松田鉄工所、中電技術コンサルタント株式会社
「人工衛星を用いたインフラ・災害危険箇所モニタリングについて」
SAR 衛星マーカーの設置利用例：海岸侵食（鳥取県）、土砂崩れ（静岡県）、地滑り（広島県）、
岩盤変動観測（沖縄県）
ASTRONETS 衛星データ活用による水道管漏水検知

《講演会 1/30(木)11:30am~12:30am》

講演：M-07

講演者：国土交通省政策統括官付地理空間情報課

地理空間情報活用推進官 米倉大吾氏

住宅局参事官付建築デジタル推進官 藤原健二氏

不動産・建設経済局不動産市場整備課課長補佐 片田一馬氏

都市局・国際デジタル政策課企画専門官 十川優香氏

講演タイトル：国交省・「建築・都市のDX」の現在地と将来像

～「建築・都市のDX」について～

- ① 建築 BIM：3次元の形状情報「見える化」&「属性情報」
- ② PLATEAU：City GML（3D都市モデルの整備・活用・公開の推進）
- ③ <https://www.mlit.go.jp/plateau/>
- ④ 不動産 ID：全国の不動産ID付与（日本郵便情報による名寄せ・連携）

（目的）建築・都市DXにより実現する社会 ユースケース↓

・防災、都市開発、物流、データ連携によるイノベーション推進

（官民連携ロードマップ）2028年～デジタルツインの社会実装を目指す！

2024年200都市→2027までに500都市達成を目標とする

以上